

用字 /2011/11/11 改訂

1.漢字と仮名の使い分け

① 代名詞/ 原則として, 漢字で書く。

俺, 彼, 誰, 何, 僕, 私, 我々

② 副詞/ 原則として, 漢字で書く。

余り 至って 大いに 恐らく 概して 必ず 必ずしも 辛うじて 極めて 殊に 更に 実に
少なくとも 少し 既に 全て 切に 大して 絶えず 互いに 直ちに 例えば 次いで
努めて 常に 特に 突然 初めて 果たして 甚だ 再び 全く 無論 最も 専ら 僅か 割に

★仮名で書く副詞(例外)。

かなり ふと やはり よほど

③連体詞/ 原則として, 漢字で書く。

明るく 大きな 来る 去る 小さな 我が(国)

④ 接頭語

接頭語が付く場合, 統一する。

御案内(御+案内) 御挨拶(御+挨拶) ごもつとも(ご+もつとも)

⑤ 接尾語/ 原則として, 仮名で書く。

惜しげもなく 私ども 偉ぶる 弱み 少なめ

⑥ 接続詞/ 原則として, 仮名で書く。

おって かつ したがって ただし ついては ところが ところで また ゆえに

★次の4語は, 原則として, 漢字で書く(例外)。

及び 並びに 又は 若しくは

⑦ 助動詞及び助詞/ 原則として 仮名で書く。

行かない。 方法がないようだ。 二十歳ぐらい ..だけである。 三日ほど経過した。

⑧ 次のような語句を, ()の中に示した例のように用いるときは, 原則として, 仮名で書く。

問題がある 関係者がいる 許可しないこと 利用できる 次のとおり 事故のときは,
現在のところ問題ない 説明するとともに, 欠点がない 1万円になる そのほか(その他)
正しいものと認める 一部の反対のゆえに 賛成するわけにはいかない
間違いかもしれない。 凶書を貸してあげる。 負担が増えていく。 報告していただく。
通知しておく。 問題点を話してください。 寒くなってくる。 書いてしまう。
見てみる。 連絡してよい。 調査だけにすぎない。 これについて考慮する。

⑨ 動詞の”言う”は, “いう”と書く(仮名で書く。)

ものをいう いうまでもない どういうふうに こういうわけ

⑩ 表外漢字, 表外音訓の場合, 仮名で書く。

ため(為), ある(或る), いか(如何)に, いわゆる(所謂), ごとに(毎に), それぞれ(夫々), あらかじめ
(予め) おいて(於いて) すなわち(即ち) ほとんど(殆ど) ないし(乃至) まで(迄) むしろ(寧ろ)

⑪ 抽象的動作は, 仮名に, 具体的動作は, 漢字に

特性をもつ 手で持つ

2. 難読漢字

嵩→かさ 剪断→せん断 泥漿→泥しよう 壺→つぼ 坩堝→るつぼ

OK:ちみつ→緻密 き裂→亀裂 はく離→剥離

れんが→煉瓦 けい素→珪素 せん鉄→銑鉄 とい→樋 ぬれ→濡れ けつ岩→頁岩

円すい→円錐 と石→砥石 ぜい性→脆性 つり→吊り 湯だまり→湯溜り しゃく熱→灼熱

がいろ目粘土→蛭目粘土 りょう苦土→菱苦土 りん状黒鉛→鱗状黒鉛 せき→堰 じん性→靱性

かくはん→攪拌 ふく射→輻射 ふるい→篩 天びん→天秤 はり→梁 か粒→顆粒

ちょう度→稠度 水ひ→水簸 はつ水→撥水 く形→矩形 木づち→木槌 角せん石→角閃石